

○事業所名	浦安市こども発達センター		
○保護者評価実施期間	令和6年11月1日 ～ 令和6年11月22日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	52 (回答者数)	42
○従業者評価実施期間	令和6年11月1日 ～ 令和6年11月22日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	18 (回答者数)	18
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年3月14日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	保護者の意向を確認し、こどもの発達に合わせた児童発達支援計画の作成を行っています。また、支援の振り返りを行い、こどもの姿、支援方法などを保護者の方と共有しています。	保護者の意向を面談で聞き取り、保育士、専門職（心理、言語聴覚士、作業療法士、理学療法士）がアセスメントを行い、こどもの発達状況に合った目標、支援方法を検討しています。保護者とともに支援の振り返りを行い、こどもの成長した姿、課題を共有するように努めています。	こどもの発達課題への理解を深められるように、研修を行っています。
2	保護者への支援をいろいろな側面から行っています。	親子グループの保護者へは、保育士より遊び方や関わり方の工夫を直接伝えています。 単独グループの保護者へは、面談、見学時、連絡帳、電話などで、日頃のこどもの様子や支援内容を伝えています。面談が必要な場合は、すみやかに日程を調整し対応をしています。 保護者懇談会を開催し、保護者同士の交流も行っています。 保護者の就労支援として、所属園の協力を得ながら、保育園へのバス送迎を行っています。	保護者とは、相談しやすい関係作りを行い、保護者の思いに共感しながら相談できるよう、職員のスキル向上に取り組みます。 就労している保護者が参加しやすいよう、保護者会などの曜日の工夫を検討します。
3	所属園との連携を図っています。	所属する園とは、電話や訪問で、必ず情報共有を行っています。 園での様子を確認し、にじいろで行う支援の見直しや工夫、園への支援方法の助言を行っています。	より定期的な連携を図ることで、にじいろだけでなく、地域で支援が行えるように体制や方法を検討します。

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	施設の老朽化、環境整備の不足（トイレ、手洗い場）があります。	危険箇所の改修は行っていますが、建物全体の改修が難しいことが要因です。	危険箇所の改善や環境は清潔に保つように、点検や整理整頓を行います。
2	「活動プログラムが固定化されていないように工夫されているか」の項目で、どちらともいえない、わからないという意見が多くありました。	利用した際のお子さんの様子は、連絡帳で記載できる際は行っていますが、プログラム内容を細かく伝えることができていないことが要因と考えています。	立案したプログラムを保護者の方に周知する方法を検討していきます。
3	「職員から共感的に支援をされていると思いますか」の項目で、どちらともいえないという意見が多くありました。	支援者側の思いが強くなり、保護者の方への共感が薄れ、一方的な説明や助言になってしまいがちであると考えています。	まずは、保護者の思いや気持ちを汲み取ることが大切であることを職員へ伝え、研修等で学ぶ機会を持てるようにしていきます。

事業所名 浦安市こども発達センター

公表日

令和7年 5月 27日

利用児童数 52人(令和6年11月1日時点)

回収数 42

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	39	2	1	0	トレイの動線や数は改善があっても良いかと思います。 通路の物が気になる。 トレイが遠い。 お部屋遊びは十分な広さかなと思います。 一部屋に対し、少人数で生活しているので、十分なスペースがあると思います。	スペースについては、環境の整備や工夫を行うことで確保できるように努めます。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	36	4	0	2	きめ細やかにこどもを見ていただいていると感じます。 グループによっては、手が足りていないと思います。	安全に適切な支援が行えるように。職員配置を行っています。グループの状況により、応援職員を配置するなどの対応を今後も行います。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	40	2	0	0	視覚支援も行っていただき、こどもにとって理解の助けになっていると思います。 何色の部屋が何をやる部屋か理解しているようなので、わかりやすくなっていると思います。	設備については、十分配慮されているとは言えませんが、こどもにわかりやすく、安全に過ごせるように構造化された環境になるように努めています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間になっていると思いますか。	36	6	0	0	清潔にしているとは思いますが、建物が古いのでいろいろな面で不具合が見られてしまう。 清潔にはしてくださっていると思うのですが、トレイがもう少し行きやすく、広く、明るくなるといいなと思います。 廊下に大型の備品が多く置かれていた印象です。 あるもので工夫して環境を作ってくれている（危ないところに登れないようになど）。 清潔ではありますが、建物が古いのできれいになればいいなと思います。 以前から問題になっていると思うが、施設全体の老朽化が気になる。 汚くはないが、施設自体が古くなってきているので、新しくなれば更に過ごしやすくなると思う。 施設の老朽化は否めない。職員の努力のおかげで清潔。 去年外遊びで使っていた砂場はもう少し衛生管理してもらえるといいなと思いました（朽ちた木の裏、幼虫、鳥のフン）。市立幼稚園では、使用後のカバーがけ、毎朝異物がながいかり起こし、動物のフンがあった場合の薬剤まきなど。先生方のご負担が増えるのは心苦しいので、せめてカバーを。こどもによっては砂を頭からかぶったり、口にしながら遊ぶ子がいたので少し気になっていました。	廊下の物品は、必要ない物は片付け、整理するようにしていきます。 園庭の砂場のカバーは対応をします。
適切な 支援の 提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	40	2	0	0	同じような支援が必要な子がグループになっていて活動がしやすい。 他。グループに交わる時間を設けて頂き感謝しています。 100%見れてないので（活動中）100%できているか言い切れませんが、面談等で十分な支援が受けられていると思います。	こどもの特性を理解し、支援を提供できるよう、今後も職員の質の向上に努めます。
	6	こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	41	1	0	0	毎回思います。	児童発達支援計画の作成にあたっては、事前に保護者のニーズを聞き取り、こどもの評価を行った上で作成するようにしています。
	7	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「本人支援」「家族支援」「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	40	1	0	1	十分な設定がされていると思います。	児童発達支援計画は、大きく「本人支援」「家族支援」「移行支援」「地域支援・地域連携」にわけ、必要な支援を選択し、支援内容を記載しています。 また、「本人支援」の中の「健康・生活」「運動・感覚」「認知・行動」「言語・コミュニケーション」「人間関係・社会性」のどれに当たるのかを明記しています。
	8	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	37	4	0	1	先生が忙しいです。 その日の活動の目標をしっかりと共有すると良いと思います。クラス全体で共通認識をもって活動に取り組めると思うので。 見学してもお部屋の中の声が聞こえないのでわからないことが多いです。 全てを見ているわけではないですが、成長を見るとそう思います。	支援後の振り返り、支援前の打合せをグループで行い、児童発達支援計画に沿った支援を行うよう心がけています。

保護者への説明等	9	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	9	7	4	12	他の保育園、幼稚園と併用していない子どもにとっては、遠足などいろいろな行事の体験が少なくなってしまうのは仕方がないと思う公園にバスでお散歩に行けると思っていたので、こどもも親も楽しめました。 できるだけ外遊びをさせて欲しい。 昨年度は月に1〜2回公園に散歩に出ていたが、今年度はそういった機会が少ないので増やして欲しい。 夏期プールは週2で行って欲しい。木曜日はプールなしだと、金曜日に雨が降ったらその週はプールができず残念だった。 ルーティーンの流れは固定しつつ、活動内容やレベルについては少しずつ変化させて様々なことができるよう工夫されています。 お部屋遊びは色々なことをしてくれているように感じます。戸外遊びがないです。 できているとは思いますが、活動中を毎日見ている訳ではないので「わからない」です。	活動プログラムは、月ごとに立案しています。プログラムが同じ場合でも、目的や個々のお子さんへの支援方法を検討し工夫をして行っています。 プールにつきましては、気候の状況もあり、安全に行えることを第一に考え、実施をしたいと考えています。 外遊び、公園への散歩は、気候や安全面を考慮し、実施したいと考えています。
	10	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	41	1	0	0	前期はなかったが、後期は交流の場があるとのことで期待している。にじいろとして他との交流があった記憶がない。	所属園がないお子さんを対象に、東野保育園との交流を後期に数回行っています。
	11	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	41	1	0	0	されていません。	支援プログラムについては、作成終了後に説明を行う予定です。
	12	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	41	1	0	0	されていません。	保護者の方に、児童発達支援計画を見ていただきながら、支援内容の説明を行っています。
	13	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	40	2	0	0	保護者会を始め、セミナー等のお手紙が入っていたりするので行われている。 研修会など土日に設定していただけると、参加しやすいです。	センターで行うペアレント・トレーニングや医師が行う講演会の案内を行っています。 土日の開催については、今後検討していきます。
	14	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	42	0	0	0	細かく教えてくださっています。	連絡帳や見学時、電話などで、お子さんの様子を共有することで、日々の支援にも生かすことができている。保護者の方には、お忙しい中お伝えいただき、ありがとうございます。
	15	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	40	1	0	1	見学の機会があるので、わかりやすく助言がある。活動も日常に取り入れやすい。 面談や登園都度助言してください。	年5回の面談や連絡帳で、保護者からの相談について助言を行っています。 いつでもご相談ください。
	16	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	25	12	1	4	こどものみならず、親自身もいつも支えていただいています。とても思います。 共感的な人、共感的でない人、様々おられる印象です。されていると思います。親身になって聞いてくださいます。	共感的に支援を行うという意識を持つように、職員への周知、研修を重ねていきたいと思います。
	17	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	40	1	0	1	コロナ後なものもあり、今年度は保護者会の機会が多く設けられていたように思う。 保護者同士の交流の機会は設けていただいていると感じますが、きょうだい向けのイベントは記憶がなく、あれば是非参加させたいです。 保護者同士の交流の機会がもう少しあるとうれしいです。 きょうだい同士の交流の機会はほぼないと思う。(2件) きょうだい同士の交流については経験がなく分かりませんが、保護者交流は開催いただきありがたいです。	父母の会はありませんが、保護者同士で交流できる全体保護者会、グループごとの保護者会を行っています。就労をしている保護者も多くなっているため、今後の実施方法は課題となっています。 きょうだい同士の交流は、家族通園は参加が可能となっていますが、交流までは至っていません。ご家族の意向も確認しながら、検討できればと思っています。
	18	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	39	0	0	3	すぐに対応してくださり、お返事も早いので助かっています。	保護者からの相談の申し入れがあった場合は、早急に対応できるように体制を整えて、対応を行っています。
非常時等の対応	19	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	33	2	0	7	お忙しい中、日々の様子を連絡帳に書いてくださり、子どもの様子が想像できやすく共有できるのありがたい。 連絡ノートにその日のこどもの様子をお知らせいただくなど、丁寧にご対応いただいています。 されていると思います。	車通園のお子さんは、連絡帳や見学時、電話でお子さんの様子や伝達事項を伝えたりするようにしています。
	20	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	38	2	0	2	されていると思います。	今年度より不定期ですが、おたよりを出し、情報発信しています。今後も引き続き、情報発信を行っていきます。自己評価の結果は、保護者の方に通知し、ホームページに掲載しています。
	21	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	35	3	0	4	されていると思います。	今後も個人情報の扱いについては、十分注意するよう、職員に注意喚起を行っています。
	22	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	35	0	0	7	あまり機会がないので、わかりません。 ベースの対応マニュアルと個別の対応も話し合っているのが安心です。訓練も実施されています。	バス乗車時の緊急対応マニュアル、感染症予防マニュアル、緊急避難マニュアルを作成し、訓練を実施しています。実施した内容は、おたよりにて保護者に周知しています。
	23	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	37	1	0	4		月1回の避難訓練を実施しています。
	24	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	36	1	0	5	ベースの対応マニュアルと個別の対応も話し合っているのが安心です。訓練も実施されています。	安全計画を作成し、廊下に掲示してありますので、ご確認をお願いします。 室内の安全チェックを毎月実施し、危険な所は早期に対応を行っています。

	25	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	40	0	0	2		頭部（首から上）のケガや重大な事故等については、電話で直接ご報告しています。軽微なケガについては、連絡帳等でお伝えすることもあります。事故が発生しないよう、安全面の配慮を行っています。
満足度	26	ごどもは安心感をもって通所していますか。	40	0	0	2	ごどもは毎日楽しく通所していて、一人ひとりに適した支援をしてくださり感謝です。 にじいろの日を楽しみにしているようです。 にじいろは楽しい所だと思っており、安心して通所しています。	にじいろに楽しく通所してもらえるように、支援を行っていきたいと思います。万が一、お子さんが行き渋ることがありましたらお伝えいただき、支援の見直しを行っていきます。
	27	ごどもは通所を楽しみにしていますか。	36	1	0	5	コロナ後、先生方やスタッフの方々もマスクが外れる機会も増え、表情が見られることはうれしく思う。 にじいろの日はいつも張り切って朝の準備をしています。 今日にはにじいろだと言うと、うれしそうにします。 活動は楽しんでできていると思っています。 毎週楽しみにしており、したことも話してくれるようになりました。	
	28	事業所の支援に満足していますか。	38	4	0	0	包括的に支援してくださり、大変感謝しております。 保護者のお弁当がネット注文になり、不便を感じている。キャンセルができない、きょうだい児が大人の弁当しか注文できないのは、利用者の実態に合っていないので、業者を変えて欲しい。 細かく気にしてくださったりで、とても満足しています。	

公表

事業所における自己評価結果

事業所名 浦安市こども発達センター

公表日 令和7年5月27日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	17	1	在籍人数の多い親子グループの粗大遊びでは、環境設定や遊びを工夫しています。	安全に支援が行えるように、部屋の大きさやこどもの状態を考えて、環境設定や活動内容を考えることは日々の課題と考えています。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	9	9	職員の休みなどにより、十分な職員配置ができない場合は、プログラム内容を工夫することで対応を行っています。	こどもの人数による支援者の対数は、基準よりも多くなっていますが、こどもの状態によっては、より人数が必要なこともあるため、安全に運営できる体制を構築することは課題です。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	14	4	生活空間は、視覚でわかるように、工夫を行っています。	設備上の問題は、予算検討に上げられるように、センター全体として考えることが課題となっています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	9	9	生活空間は、清掃や整理整頓を行い、心地よく過ごせるよう心がけています。粗大活動の部屋と落ち着いた活動を行う部屋に分けて、活動を行っています。	建物の改修は難しいので、危険な箇所への対応、清潔を心がけていきます。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	18	0	体調不良や発熱時に、別室で過ごす部屋があります。クールダウンの部屋は他グループとの兼ね合いで難しいこともありますが、部屋の中で空間の工夫を行うようにしています。	使用できる部屋は限りがありますが、部屋の工夫での対応を今後も考えていきます。
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	15	3	行事の際は、行事案を作成することで、目標の設定と振り返りを行い、次年度に向けた改善につなげている。	すべての職員が、意見を述べられるようにしていくことが課題です。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	18	0	保護者向け評価を年1回行い、業務改善につなげています。	今後も年1回の評価は行い、業務改善につなげていきます。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	16	2	職員会議を行い、職員が意見を出し合うことで、業務の検討を行い、必要な改善をおこなっています。	意見を出しやすくするために、事前に会議の内容を周知するなどの工夫は課題と考えます。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。				今後、第三者による外部評価を行うことが課題です。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で研修を開催する機会が確保されているか。	18	0	内部研修（支援プログラムに関することや医師による研修など）及び外部研修の機会を持つように努めています。	研修の機会を設け、資質の向上に努めることは今後も課題です。
	11	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	18	0	保育士、心理職、言語聴覚士、作業療法士、理学療法士が行ったアセスメントを反映し、児童発達支援計画の作成をしています。	引き続き、保護者やこどものニーズを丁寧に聞き取り、児童発達支援計画の作成を行っています。
	12	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	18	0	保育士、心理職、言語聴覚士、作業療法士、理学療法士と共に検討会議を行い、支援方針を決定しています。	検討するために、十分な時間を確保できないことが課題です。
	13	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	18	0	グループの職員間で共有し、日々の支援を行っています。	引き続き、職員間で共有できるように取り組んでいます。

14	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	17	1	保育士のアセスメントツールはありませんが、日々の振り返りで、こどもの状況を確認しています。	今後、保育士が使えるアセスメントツールを作成することは課題です。
15	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	18	0	児童発達支援計画は、左記の領域に分けて作成し、支援内容も明記しています。	引き続き、児童発達支援計画はガイドラインに則って作成し、保護者に丁寧に説明を行っていきます。
16	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	18	0	立案は主に保育士が行っていますが、会議で他専門職と内容を相談、共有しています。	活動プログラムが、こどもに合った支援になるように目指していきます。
17	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	18	0	月ごとに、ねらいを定めプログラムを検討しています。	活動プログラムが固定化しないよう取り組んでいきます。
18	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	18	0	個別活動、集団活動を組み合わせ児童発達支援計画の作成を行うように心がけています。	こどもの状況に応じて、個別の対応を行うように取り組んでいきます。
19	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	18	3	ほぼ毎日打合せを行い、支援の内容や役割分担を確認し、支援を行っています。	事前の打ち合わせ、支援の振り返りを毎日行うことは難しいこともありますが、今後も工夫をしながら、次の支援につなげることは必要であると考えています。
20	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	13	5	毎日は難しい状況もありますが、打合せと振り返りの時間を確保できるよう工夫しています（業務の優先順位、コミュニケーションをとるなど）。打合せが困難な際は書面（グループ日誌）にて把握するようにしています。	
21	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	18	0	日々の記録は必ずとるようにし、支援の振り返り、改善につなげるように努めています。	引き続き、支援の充実につながるような記録ができるよう努力していきます。
22	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	18	0	半年に1回行っています。	引き続き、保護者の方と児童発達支援計画の振り返りを行い、次の支援計画へつなげていきます。
23	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	17	1	なるべく、設定された会議には出席できるように、職員配置の工夫を行っています。	相談支援事業所による連携の差はありますが、今後も担当者会議には出席できる体制を整えるようにしていきます。
24	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	16	2	保健との連携はありませんが、他の機関とは連携を行い、支援を行っています。医療的ケアが必要な場合は、必ず医療機関と連携を行うようにしています。	保健については、必要がある時には連携を行っています。
25	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	17	1	併行利用への移行は、こどもの状況と保護者の意向からの支援を行っています。移行する際は、保護者を交えて所属園と会議を行い、こどもの状況と保護者の意向を伝え、スムーズに園生活が送れるように支援を行っています。 すでに併行利用している場合は、所属園と電話や訪問で連携を取り、支援内容等の情報を共有しています。	今後も、インクルージョン推進の観点から、所属園との連携を図っていきます。
26	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	18	0	小学校は、教育センターを通して、特別支援学校は直接共有を行っています。	小学校へ引継ぎについては今後の課題です。
				児童発達支援事業者連絡協議会を年3回行い、連携を図っています。また、センターで行う	地域全体の質の向上については、児童発達支援センターの役割である中核的機能をどのよ

保護者との連携	27	地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	15	3	研修会の案内を行い、研修の機会が増えるように取り組んでいます。	うに行っていくかを含めて検討を行っていくことは課題です。
	28	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	18	0	医師、専門職からの助言や研修を受ける機会を設けています。外部研修は、支援体制に影響がない範囲で、参加できるようにしています。	今後も様々な研修の機会を設け、知識、技術の向上に努めていきます。
	29	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	15	3	代表として管理者（所長）が出席しています。	公的機関の役割として、今後も会議等へ出席は行っています。
	30	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	17	1	所属園がない利用児が、隣接する保育園と交流する機会を設けています。	交流の目的や方法をしっかり検討した上で実施を行うことが課題です。
	31	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	18	0	親子通園では、こどもの変化などを伝え、こどもの成長の実感をもてるように取り組んでいます。単独通園の保護者には、面談や見学、電話などで、こどもの発達状況や困っていることなどを共有し、助言を行っています。	就労をしている保護者が増え、面談の日程調整、見学、連絡が難しい場合があり、今後どのように保護者支援を行うかは課題です。
	32	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	18	0	センターで行うペアレント・トレーニング（対象は年少から、全5回のコースとオンラインでの研修）や医師による講演会の案内など情報提供を行っています。	今後も家族支援として、研修の機会をつくっていきます。
保護者への説明等	33	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	18	0	利用者負担については、契約時に重要事項説明で説明を行っています。	支援プログラムについては、作成中で、今年度中に公表します。
	34	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	18	0	保護者には、保護者の意向を含めた面談用紙を記入していただき、支援計画作成前に聞き取りを行い、意向に沿った児童発達支援計画を作成するように努めています。	今後もこどもや家族の意向を丁寧に確認し、児童発達支援計画を作成します。
	35	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	18	0	面談で児童発達支援計画を示しながら、説明を行い、同意を得ています。	今後も面談で、児童発達支援計画の説明を行っていきます。
	36	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	18	0	年5回の面談や連絡帳で、保護者からの相談について助言を行っています。	今後も相談に適切に応じ、助言や支援を行っていきます。
	37	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	17	1	父母の会はありませんが、保護者同士で交流できる全体保護者会、グループごとの保護者会を行っています。	家族通園時に、きょうだいの参加もありますが、交流にまでは至っていないので今後ご家族の意向も踏まえながら検討できればと思います。
	38	こどもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	18	0	保護者からの相談の申し入れがあった場合は、早急に対応ができるように体制を整えて、対応を行っています。	今後も保護者が気兼ねなく相談でき、早急に対応できる体制を整えていきます。
	39	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	17	1	今年度より不定期ですが、おたよりを出し、情報発信しています。	今後もおたよりで、情報を発信していくことが必要であると考えています。
	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	18	0	個人情報の扱いについては、十分注意するように職員には注意喚起を行っています。	個人情報の取扱いについて、全職員が意識をもって取り組めるように取り組んでいます。
	41	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	18	0	様々な工夫をして行っています。	今後も、意思疎通や情報伝達については工夫をしていきます。
	42	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	7	11	現在、地域に対しての行事はありません。	地域に開かれた事業運営は課題も多く、十分検討を行う必要があると考えています。
	43	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	17	1	バス乗車時の緊急対応マニュアル、感染症予防マニュアル、緊急避難マニュアルを作成し、訓練を実施しています。実施した内容は、おたよりにて保護者に周知しています。	マニュアルの周知方法は、今後の課題です。

非常時等の対応	44	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	18	0	業務継続計画は策定しています。避難訓練は毎月行っています。	BCPについては、毎年見直しを行い、必要な訓練を行っています。
	45	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	16	2	健康観察票を保護者の方に記入いただき、健康に関する状況を確認しています。バスには、てんかんなどの注意点を記載した名簿を職員が持ち乗車しています。	職員間の情報共有を丁寧に行っていきます。
	46	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	18	0	お弁当を注文の際、アレルギーの有無を把握しています。お弁当は、医師の指示書に基づき利用を進めています。	今後も、保護者の協力のもと、アレルギーへの対応を行っています。
	47	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	18	0	安全計画を作成し、研修や訓練を行っています。室内外の安全点検をチェックシートで確認をし、改善が必要な所は改善を行っています。	日々、お子さんの安全が守られるように、安全管理に取り組んでいます。
	48	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	16	2	安全計画に基づいて行った内容は、おたよりで保護者に周知しています。また、家庭で気をつけて欲しい内容をおたよりに載せ周知しています。	今後も、安全については、家庭とも連携をとりながら取り組んでいくことは必要であると考えています。
	49	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	18	0	ヒヤリハット、けがなどがあつた場合は、会議で情報共有し、対策の検討を行っています。環境の整備が必要な場合は、早期に対応を行うようにしています。	今後もヒヤリハットは、職員で共有し、対策を検討します。
	50	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	18	0	虐待を防止するための研修を数回実施し、日々の支援の振り返りを行っています。	今後も研修会を行い、虐待防止に努めます。
	51	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	17	1	やむを得ず身体拘束を行う場合はどのような時かを周知しています。補助用具（座位保持椅子など）の使用にあたっては、児童発達支援計画に記載をし、保護者の同意を得ています。今までに、やむを得ない身体拘束はありません。	今後も、身体拘束予防についての研修を行い、不適切な支援にならないようにします。